

2022年度 AWBC あさひかわオープンカレッジ
「生命倫理」について～医療における人間の生と死の問題—哲学・
倫理学の視点から考える～

7月18日(月) 13:30～15:30 元名寄市立大学教授 白井 暢明 先生
(旭川ウェルビーイング・コンソーシアム教育コーディネーター)



医療技術の進歩とともに、人間の生と死の問題を考える「医療倫理」が重要課題となっています。本講義では、安楽死と尊厳死・人工妊娠中絶・臓器移植と脳死判定などの現代医療がかかえる問題に対し、その背景やさまざまな歴史的事例を通じて、深刻な問題を身近な問題として講義していただきました。「『死』があることによって、一回限りの生を価値あるものあるものとして『死』を受け入れる。」との哲学者の言葉は、受講者に多くの示唆を与えた講義となりました。 受講者 31名